



Agenda

7 芸術・文化教育

生徒の感性を磨く芸術鑑賞の機会と、創作活動の場を充実させていきます。

中学・高校生の間に一流の芸術・文化に親しむことで生徒たちが感性を育み豊かな人生を送ってほしいと願っています。本格的な舞台装置を備えた桐蔭学園シンフォニーホールや各種企画展示を行う桐蔭学園アカデミウムにて、年間を

通じて様々な公演や企画展示を行っていることは本校の特色の一つです。さらに、鑑賞活動だけではなく、生徒たちがそれぞれの関心や個性に応じて芸術・文化活動に取り組み、発表する機会も充実させていきます。

芸術・文化鑑賞



桐蔭学園には、オペラも上演できる本格的な舞台装置を備えた桐蔭学園シンフォニーホールが学内にあり、松竹大歌舞伎やバレエ公演、劇団四季のミュージカル、ベルリンフィルのメンバーによる演奏会、映画鑑賞会など、年間を通して国内外の様々な質の高い芸術・文化に触れることができます。近年はプロの演奏者と生徒がコラボレーションする機会を充実させています。2015年度はマルチアーティストの青島広志氏とシエナ・ウインド・オーケストラや、サクソフォン奏者の須川展也氏をお招きし、本校の吹奏楽部の生徒たちが舞台上で共演しました。初めは緊張気味だった生徒たちも、演奏者の皆さんにリードしてもらい、貴重な機会を大いに楽しんでいました。

各種企画展示を行う桐蔭学園アカデミウムでは、2015年度、ユトリロの没後60年を記念した企画展や、極地での長年の調査・観測結果を展示した「南極・北極展」など、生徒の好奇心を刺激する展覧会を実施しました。

保護者の皆様や卒業生からの多くの鑑賞希望に応え、『桐蔭学園シンフォニーホール友の会』が設立されています。

生徒の創作活動

TOIN ART COLLECTION 2016



学内で芸術・文化を鑑賞するだけでなく、生徒の創作活動やその発表にも力を入れています。年度末には、本校の中学・高校のみならず幼稚部から大学までの桐蔭生の作品を一同に集めたTOIN ART COLLECTIONを開催しています。2016年で6回目を迎えた本企画では、絵画、造形、書道など個性豊かな作品が展示されます。

中学・中等前期では、毎年合唱コンクールを行っています。クラスごとに歌う曲を選び、創意工夫しながら一つの作品をつくりあげる経験は、生徒たちの心に残る行事となっています。また、本校は芸術・文化に関連した部活動も充実しており、各学校の特色に応じて、吹奏楽、軽音楽、美術、茶道、華道、書道といった部に加え、弦楽部、箏曲部、和太鼓部といった部活動も行われています。学外から専門の指導員を招いている部も多く、充実した指導体制となっています。

芸術・文化活動を通して、自己の能力や個性を豊かに育み、感性を磨いてほしいと思います。